

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4590500098		
法人名	(株)まきば		
事業所名	グループホーム さくらの園		
所在地	宮崎県小林市細野4173番地8		
自己評価作成日	平成27年11月10日	評価結果市町村受理日	平成28年2月8日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会		
所在地	宮崎市原町2番22号宮崎県総合福祉センター本館3階		
訪問調査日	平成27年12月4日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホームのみだけで孤立せず、併設の小規模多機能型居宅介護事業所の利用者との交流を定期的に設け、また、日々の生活の中にも行き来することによって広く人との関わりをもっていくことにより、生活の広がりにつながっていている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

開設して1年半のホームである。利用者一人ひとりに寄り添い、利用者が生き生きとホームの中で生活できるよう、管理者と職員が一体となって理念達成へ向け日々努めている。また、新たなホーム独自の理念も模索中である。利用者が趣味・特技を生かしながら、ホームの中で自分自身を見出し、明るく生き生きとした生活を送れるよう支援している。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	玄関に掲示し、いつも目に入るようにしている。スタッフ会議でも理念の確認をし、理念に沿った支援ができるよう努めている。	理念を全職員で唱和し、いかに介護へつなげるかを皆で共有している。また、現在の理念をホームの現状に沿ったものにならんと考 慮中である。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	散歩等を通して、近隣の方と日常の中で交流できるよう努めている。また、地域で行われている祭りや運動会の見学に出かける等している。中学校の職場体験等も受け入れ、利用者とおふれあう時間もよこばれている。	ホームの近隣の「牧場の桜」祭りや小・中学校の行事に出掛けたり、季節の行事にホームに招いたりしている。散歩時に、地域住民から声掛けがあったり、一緒に散歩するなど交流を図っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議で、区长・民生委員・地域の方へ利用者の認知症の状況と支援状況を報告し、また、地域での認知症の方の状態をお聞きしたりと情報交換をしている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	状況報告を行い、委員の方から意見・助言を頂き、運営の参考にしている。	地域から三つの区长が参加し、ボランティアの手配や行事の段取りなどについて積極的に提案がなされ、運営に生かすよう努めている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	サービス利用の相談や調べるうえで理解できないことがあると、長寿介護課へ連絡又は、伺い尋ねたりしている。運営推進会議や地域密着連絡会等で現状を報告し、協力関係を築くよう取り組んでいる。	市主催の地域密着型連絡会等で現状を報告したり、意見を述べるなど、市町村とのつながりが密になるよう取り組んでいる。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介護指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	声掛け・見守りの重視に努めている。また、外に出られる利用者が、スタッフに声を掛けてくださるような表示をするなどの工夫をして、施錠による身体拘束はしないよう努めている。	研修に参加した職員が、スタッフミーティングでホーム内の実例等を基にした施設内研修を行っている。職員は身体拘束に対して理解をし、共有している。一人で外に出てもさりげなく声掛けをし、所在確認をしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	事業所内研修で取り上げて学ぶようにしている。また、事業所内で虐待が見過ごされないよう、小さいことでもお互いに報告しあうようにしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護に関する研修会等に参加している。利用者の状況に応じて家族等の話をしたり、相談を受けるようにしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書や重要事項説明書で十分説明を行い、また、不安や疑問点を傾聴し、理解・納得を図っている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者の状況は常に把握し、ご家族の方とのコミュニケーションを大事にしている。また、家族会等を通して意見や要望が言えるような関係づくりに努めている。	家族付き添いによる受診時や家族会、また、近所のうどん屋で利用者、家族、職員も交えて食事をしながら、意見や要望、情報を得て運営に生かしている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回のスタッフ会議で、現在の状況を皆で共有し、また、案が出たときは検討し、スムーズな職場づくりが出来るようにしている。	管理者が積極的に声掛けをし、話しやすい雰囲気作りにも努め、職員も働きやすい環境にするよう意見等を出している。スタッフミーティングに代表者が参加することもある。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の家族状況や体調を把握し、環境の整備に努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	必要な研修は案内をし、参加を呼び掛けるなどし、スキルアップに努めている。認知症介護実践者研修や認知症サポーター講座等の研修にも出席し、職場でのスキルアップに努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域密着連絡会へ参加し、他のグループホームとの交流に取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	グループホームの見学・ご本人との面接をし、ご家族からの情報を通して困っていること・不安なこと等を傾聴し、関係づくりに努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	グループホームの見学・ご本人との面接をし、困っていること・不安なこと等を傾聴し、関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人の状態や家族の要望、状況等を考慮して、どのような支援が必要かを検討するようにしている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者の一人ひとりの個性を尊重し、役割を持っていただき手伝ってもらっている。手伝っていただいたときは「ありがとう」と声をかけて、自分が役に立っていることを実感してもらえるようにしている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	病院受診や外出等は、ご家族へお願いしている。家族との絆も薄くならないよう行事等の参加も案内し、ともに過ごす時間をつくるよう努めている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族の協力をもらいながら、自宅に帰りたいたときは家へ、買い物に行きたいときは買い物へ行けるように支援に努めている	家族の協力を得て、自宅に帰ったり、なじみの店で買物できるよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者一人ひとりの性格を配慮し、席を考えたり、手と手を取り合えるような支援に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後も、入院された利用者のところへ顔を見に行ったりと、関係がとぎれないよう努めている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の生活の中で、本人の希望・意向で過ごしていただいている。困難な場合は、家族と一緒に本人の立場での支援に努めている。	利用者の趣味や生活歴を基に利用者寄り添い、話や自己表現がしやすい雰囲気を作り出し、思いや意向の把握に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用を開始される前に、生活歴や生活環境の把握に努めている。利用をしていただく過程の中で知りうることもある。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの一日の過ごし方を大切にできるようにしている。利用されている中で、それぞれの出来ることに目を向けるようにして、その力を維持できるように努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要の関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	殆どの家族の方が、穏やかに過ごされることを希望されている。本人の訴えに耳を傾け、家族の協力を得ながら、より良く暮らせるように努めている。	計画は、計画作成担当者や利用者の担当がミーティング時に意見を出し合い作成しているが、計画期間が画一的になっている。	利用者により、状態、状況は異なるので、個々人に応じた実施計画を作成することを期待したい。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の一人ひとりの様子を記録するようにしている。ケア実践状況は個別記録するようにして、職員間で把握しやすいように努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	病院受診等で採血がある場合など、事業所にて看護師が対応し、しっかり食事をとることができ、また、ご家族も早い時間からの受診に対応しなくてもいいなどの支援を行っている。柔軟な支援については、その都度検討し、支援に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	利用者の希望に応じて、出張美容サービスを利用したり、ボランティアによる慰問などと協力して、楽しみを持つことができるように努めている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期受診は、家族の支援でいただいている。入所されると、面会の機会が減る傾向がある。本人様の体調(現状)を知っていただくこと、面会を目的にお願いしている。緊急時は必要に応じて受診の支援を行うようにしている。	家族協力の下、月に1回の家族付き添いによる受診を継続している。ホームは、かかりつけ医との情報交換を密にしている。また、希望する利用者には歯科の訪問診療を行い、口腔ケア指導に努めている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日常の関わりの中で変化に気付いた時には、必ず看護師に報告するようにしている。報告を受けた看護師は、状態に応じて応急処置や経過観察、病院受診の必要性を判断している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は、利用者の入院前の情報を提供するようにしている。入院前の状態を知っていただくことで、入院による身体機能の低下が最小限になるように努めている。退院時にも情報を共有することで、利用者や家族が安心して継続的にケアが受けられるように努めている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	利用開始時に、重度化や終末期における意向を確認するようにしている。利用者の状態の変化に応じて、その都度、意向を確認するように努めている。	入居時に、重度化や終末期における希望・要望を確認し、署名をもらっている。まだ、重度化及び終末期に至ったケースはないが、かかりつけ医の指導の下、その都度確認と共有ができるように努めている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	利用者の急変時や事故発生時のマニュアルを作成し、看護師を中心に対応している。所内での研修や訓練等を行うようにしている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回、火災などの災害を想定して避難訓練を行うようにしている。夜間の災害を想定しての連絡網を利用し、連絡体制の模擬訓練を行うようにしている。	隣接する同一法人事業所と訓練しているが、夜間想定での本格的な訓練や地域との協力を得た訓練が十分になされていない。備蓄品は、隣接する同一法人事業所と共有している。	災害時にホームだけで解決するのではなく、地域の消防団や近隣住民の協力を得て行えるよう、協力体制を構築することを期待したい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	日頃のやりとりで気付いたときは注意し、お互いに言葉づかいにも十分気をつけ、対応につとめている。	利用者それぞれの趣味やできることを生かして生活できるよう見守り、励ましや喜びの声掛けを行い、尊厳をもって対応するよう努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	コミュニケーションを通し、本人が選択できるように心がけている。意思表示ができなくても声掛けし、表情等で観察するよう働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	だいたいの一日の流れはあるが、利用者の意向やペースを大切にするように心がけている。入浴なども、ゆっくり入れるようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人の好みや意向を尊重するよう努めている。希望に応じて、理容サービスを活用したりしている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備や片づけ等を一緒に行ったり、お任せしたりしている。	職員は、利用者と一緒に食事をとり、利用者の嚥下状態に応じながら時間をかけ食事の支援をしている。さりげなく声掛けをし、片付けができる利用者には手伝ってもらっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分の摂取量は一日1500mlを目標にしている。食事は、個々に合わせて量・形態を変えている。利用者の好みに応じて、家族と協力しておやつや補食等の検討をしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	個々に合わせて行っている。希望の利用者の方には、訪問歯科の受診されており、口腔ケアの指導も受け、職員全員がその指導を共有し、継続して行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	起立が自立の利用者は、日中トイレにて、夜は必要であればポータブルトイレの使用を支援している。失禁の多い方は、排泄パターンの把握に努め、声掛けを行ったりしている。	一人ひとりの排せつパターンに応じて声掛けをしており、排せつに対し羞恥心があった利用者も、職員のさりげない声掛けで排せつの失敗が少なくなるなど、配慮ある支援に努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	運動や水分摂取に努めている。食事でも食物繊維の多い食事の提供を心がけ、献立を作成している。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	個々の状況に合わせて、無理なくあわせて入浴していただいている。	入浴計画に沿って支援しているが、利用者の希望があれば、いつでも入浴できるようにしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	居室で休みたい方は、居室で休んでいたが、寝具も常に清潔に努めている。ホールで眠られている方がいたら、安全確認や寒さに注意しながら、見守りしながら過ごしていただいている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々のカルテに処方箋を綴り、いつでも確認できる状態をつくっている。飲み忘れ・誤薬がないよう常に2人確認で行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々に応じた能力を活かすように努め、絵・習字・体操・散歩・外食等にて気分転換の支援に努めている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	家族の協力のもとで、外出・買い物等に出かけられるように支援している。	月に1回の家族付き添いによる受診時に、家族の協力を得て、買物や食事、帰宅等を行っている。天気の良い日は、コースを決めて、近隣を散歩している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	週1回パン屋さんが来られ、自分の財布から支払われる方、また、買うこと(選ぶこと)を楽しみにされている方の時間も大切にしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話を希望される利用者には、電話の支援を行っている。定期的な病院受診や面会等で直接かかわりが持てるように支援している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホールでのテレビ視聴時は、ソファーに座られる方、車いすの方と定位置で居心地よく過ごされている。また、食卓には季節に応じた生花が飾られ、和むことのできるよう工夫している。室温や湿度にも気を配るようにしている。	トイレ等をわかりやすく表示している。また、脱衣所から廊下に出ずにトイレに行くことができるなど、プライバシーも守られている。廊下の掃出し窓から紅葉と緑が見え、季節感を味わえるよう配慮している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファーで新聞を読まれたり、本を読まれたり、一人で過ごすことが出来るよう工夫している。また、気の合う利用者同士で話をするスペースでもある。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、テレビ・好きな歌手のポスター・好きな人形・ご主人の位牌等を置かれ、利用者が居心地よく過ごせるよう工夫している。	各居室に棚付きのクローゼットがあり、利用者それぞれが個々の趣味にあわせた物を置き、また、位はい、たんす、テレビなどを持ち込み、個々に合った生活空間となるよう工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自分の居室がわかるように、お花を飾ったり、トイレには大きく表示したりと、自立した生活ができるよう工夫している。		